

小金井市保健福祉総合計画（障害者計画・障害福祉計画）策定のための

アンケート調査 ご協力をお願い

（障がい福祉関係事業所）

市民の皆様には日ごろから福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。

小金井市では、保健福祉に関する施策の総合的な推進を図るため、小金井市保健福祉総合計画を策定しています。保健福祉総合計画の中の一つに、障がい福祉施策の一層の充実を図るための、「障害者計画・障害福祉計画」があります。

このアンケート調査は、保健福祉総合計画の中の障害者計画・障害福祉計画改定のための調査で、障がい福祉関係事業所を対象に実施します。皆様のご意見、ご提言を広くお聞きし、計画改定に反映していきたいと考えております。

また、このアンケート調査に際しましてはプライバシーの保護に万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年12月

小金井市長 西岡 真一郎

ご記入にあたってのお願い

○お答えは、あてはまる回答の**番号に○**をつけてください。○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。

○「その他」に○をつけられた方は、（ ）内に具体的にその内容をご記入ください。

○なお、本調査の結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。

○ご記入いただいた調査票は、**12月22日（木）**までに、同封の封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

小金井市 福祉保健部 自立生活支援課

〒184-8504 小金井市本町6-6-3

電話：042-387-9848 FAX：042-384-2524

A 事業所について

問1 貴事業所の運営主体は次のどれですか。(1つに○)

- | | | |
|------------|-------------------|-----------|
| 1. 社会福祉法人 | 3. 特定非営利活動法人(NPO) | 5. 市町村 |
| 2. 社団・財団法人 | 4. 医療法人 | 6. その他() |

問2 貴事業所で実施している障がい福祉サービスは次のどれですか。(いくつでも○)

- | | | |
|---------------|-------------------|------------------|
| 1. 居宅介護 | 10. 療養介護 | 19. 共同生活援助 |
| 2. 重度訪問介護 | 11. 生活介護 | 20. 宿泊型自立訓練 |
| 3. 行動援護 | 12. 自立訓練(機能訓練) | 21. 児童発達支援事業 |
| 4. 重度障害者等包括支援 | 13. 自立訓練(生活訓練) | 22. 放課後等デイサービス事業 |
| 5. 同行援護 | 14. 就労移行支援(一般型) | 23. 保育所等訪問支援事業 |
| 6. 短期入所 | 15. 就労移行支援(資格取得型) | 24. その他() |
| 7. 計画相談支援 | 16. 就労継続支援(A型) | |
| 8. 地域移行支援 | 17. 就労継続支援(B型) | |
| 9. 地域定着支援 | 18. 施設入所支援 | |

B 運営やサービス提供について

問3 貴施設・事業所の経営状況はどのような状況ですか。(いくつでも○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 日割り制度になり、減収となった |
| 2. 事業単価が低く経営が困難 |
| 3. 施設整備などの資金繰りが困難 |
| 4. 職員の給与の据え置きが続いている |
| 5. 労働条件などにより職員の退職がある |
| 6. 従事者の人員確保が困難 |
| 7. 職員の研修、育成を行う時間が少ない |
| 8. 事務量が増大している |
| 9. サービス内容や質の安定、向上を図ることが困難 |
| 10. 市民、近隣住民の理解を得るのに苦慮している |
| 11. その他() |

問4 貴事業所において、今後3年程度の間で新たな事業を検討している障害福祉サービスはありますか。(いくつでも○)

1. 居宅介護	10. 療養介護	19. 就労定着支援
2. 重度訪問介護	11. 生活介護	20. 施設入所支援
3. 行動援護	12. 自立訓練（機能訓練）	21. 共同生活援助
4. 重度障害者等包括支援	13. 自立訓練（生活訓練）	22. 宿泊型自立訓練
5. 同行援護	14. 自立生活援助	23. 児童発達支援事業
6. 短期入所	15. 就労移行支援（一般型）	24. 放課後等デイサービス事業
7. 計画相談支援	16. 就労移行支援（資格取得型）	25. 保育所等訪問支援事業
8. 地域移行支援	17. 就労継続支援（A型）	26. その他（ ）
9. 地域定着支援	18. 就労継続支援（B型）	27. 特にない

問5 貴事業所において、今後3年程度の間で休止を検討している障害福祉サービスはありますか。(いくつでも○)

1. 居宅介護	10. 療養介護	19. 就労定着支援
2. 重度訪問介護	11. 生活介護	20. 施設入所支援
3. 行動援護	12. 自立訓練（機能訓練）	21. 共同生活援助
4. 重度障害者等包括支援	13. 自立訓練（生活訓練）	22. 宿泊型自立訓練
5. 同行援護	14. 自立生活援助	23. 児童発達支援事業
6. 短期入所	15. 就労移行支援（一般型）	24. 放課後等デイサービス事業
7. 計画相談支援	16. 就労移行支援（資格取得型）	25. 保育所等訪問支援事業
8. 地域移行支援	17. 就労継続支援（A型）	26. その他（ ）
9. 地域定着支援	18. 就労継続支援（B型）	27. 特にない

問5-1 また、休止を検討している理由を簡潔にご記入ください。

問6 貴事業所ではサービスの質の向上のために、どのような取り組みを行っていますか。

(いくつでも○)

1. サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している
2. 事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている
3. 利用者や家族に対し満足度調査を行っている
4. 積極的に外部評価を受けている（ISO、第三者評価など）
5. 独自の自己評価を実施している
6. 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している
7. 現場のスタッフが自発的に多問題事例に関するケース検討会などを行っている
8. 現場スタッフに任せている
9. 意見箱を設置している
10. 各種研修会、学習会・セミナーの実施や参加
11. その他（)
12. 特に行っていない

問7 スタッフの研修・教育等に関して困っていることは何ですか。(いくつでも○)

1. 人材育成のための時間がない
2. 人材育成のための費用に余裕がない
3. 従業員の自己啓発への意欲が低い
4. 事業所や法人が人材教育に熱心ではない
5. 指導をできる人材が少ない、または、いない
6. 採用時期が別々で効率的な育成ができない
7. 育成してもすぐに辞めてしまう
8. 研修を受講させる人的な余裕がない
9. その他（)
10. 特にない

C 権利擁護・相談支援について

問8 平成28年4月1日に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されましたが、小金井市内でサービスを提供するなかで実際に体験した悪いと思われた対応と、良いと思われた対応についてご記入ください。

(1) 悪いと思われた対応

	①障がいの種類	②対応の分野	悪いと思われた対応の内容
1			
2			
3			

①障がいの種類（数値を記入・複数可）	②対応の分野（アルファベットを記入）
1. 視覚障がい 2. 聴覚・平行機能障がい 3. 音声・言語・そしゃく機能障がい 4. 肢体不自由 5. 内部障がい 6. 精神障がい 7. 知的障がい 8. 難病・特定疾患 9. 発達障がい・自閉症 10. 高次脳機能障がい 11. その他	A. 福祉 B. 医療 C. 行政（公共の建物・公園等を含む） D. 販売（消費活動） E. 飲食 F. 交通・観光 G. 情報・通信 H. 学校・教育 I. 労働・雇用 J. 文化活動 K. 子育て L. 災害 M. 金融・不動産（住宅） N. その他

(2) 良いと思われた対応

	①障がいの種類	②対応の分野	良いと思われた対応の内容
1			
2			
3			

問9 貴事業所では利用者等から虐待に関する相談を受けたことがありますか。(1つに○)

1. ある	2. ない
-------	-------

→問9-1 虐待に関する相談に関してどのように対応していますか。(いくつでも○)

1. スタッフが対応	3. その他	[]
2. 適切な専門機関が対応		

→問9-2 相談は誰からの虐待でしたか。(いくつでも○)

1. 家族・親せき	4. 学校の教職員	7. その他
2. 友人・知人	5. 福祉施設の職員	[]
3. 職場の上司・指導員	6. 医療機関の職員	

→問9-3 この3年間(平成26年1月～平成28年12月)の虐待に関する相談は何件(実件数)ありましたか。(数値で記入)

件

問 10 職員に対する権利擁護支援に関する研修として、貴事業所でこれまでに実施したものがありませんか。外部の研修の受講なども含めてください。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 権利擁護の基礎的な理解の研修 | 4. 権利擁護や成年後見制度の理解の研修 |
| 2. 虐待防止のための取り組み研修 | 5. その他 () |
| 3. 介護や支援の質を高める研修 | 6. 特に実施したものはない |

D 障がい者福祉施策について

問 11 障がいのある方が相談しやすい体制をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 曜日や時間に関係なく、いつでも相談に応じてくれる |
| 2. 信頼できる相談者がいる |
| 3. 身近な場所で相談できる窓口がある |
| 4. インターネットでの相談ができる |
| 5. 電話での相談を充実する |
| 6. ちょっとしたことでも相談に応じてくれる |
| 7. 自分の話を聞いてもらいながら、ゆっくりと時間をかけて相談できること |
| 8. その他 () |
| 9. 特にない |

問 12 小金井市で障がいのある人が生活するうえで、障害者総合支援法や児童福祉法によるサービスは足りていると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| 1. 足りていると思う | 2. 足りないと思う | 3. わからない |
|-------------|------------|----------|

問 12-1 具体的にどのサービスが不足しているか理由や背景等を含めてご記入ください。

問 13 障がいのある人がその人らしく地域で生活するために、障害者総合支援法や児童福祉法によるサービス以外で特に必要と思われる支援はありますか。(いくつでも○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 話し相手や地域の人声かけ、訪問 |
| 2. ちょっとした不安や困りごとでも相談にのってくれる身近な相談サービス |
| 3. 趣味やスポーツなどの集まり |
| 4. 食事の配達サービス |
| 5. 外出の時に自動車で送迎してくれるサービス |
| 6. 買い物など外出に付き添ってくれるサービス |
| 7. その他 () |
| 8. 特にない |

